

## II 学類等への移行について

総合教育部の学生は1年間学んだ後、2年次に各学類（保健学類では専攻）へ移行します。文系は融合学域又は人間社会学域、理系は融合学域、理工学域又は医薬保健学域（医薬科学類及び保健学類の理学療法専攻・作業療法学専攻を除く。）の各学類へ移行します。

移行先の学類は本人の希望と移行点対象科目の成績（移行点）によって決定します。

なお、文系から理工学域及び医薬保健学域への移行、理系から人間社会学域への移行は認めません。

### 1 志望調査

総合教育部の学生はアカデミック・アドバイザーとの面談・履修設計を行いながら、学類教員や学類の学生との懇談等を通して、学類選択への準備をします。様々な学類を見て自分に合った学類選択を行えるようアカデミック・アドバイザーがサポートします。

1年次の成績が確定した後、3月初旬に志望調査を実施します。志望調査では、志望学類ごとに順位を付して各学生にお知らせします。

### 2 進路登録

志望調査の結果により自分の順位を確認したうえで、これらのデータを参考にしながら第1次進路登録を行います。

第1次進路登録に基づき、本人の希望と移行点により移行学類が決定します。第1次進路登録で移行する学類・専攻が決定しなかった場合には、同様の方法で第2次・第3次進路登録を行います。

3月中旬には、すべての学生の移行学類が決定します。

### 3 移行点対象科目及び移行点算出方法等

文系と理系でそれぞれ次表に従って移行点を計算します。移行点対象科目は、移行点を計算するために定めた科目です。移行後の学類ごとに、卒業要件は異なります。

#### (1) 文系の区分により入学した者の移行点対象科目 計18科目 18単位

GS科目 (12科目)	1群	最も偏差値の高い科目2科目 2単位
	2群	最も偏差値の高い科目2科目 2単位 ただし、2F「エクササイズ&スポーツ 実技」を除く。
	3群	最も偏差値の高い科目2科目 2単位 ただし、3E「芸術と自己表現」を除く。
	4群	最も偏差値の高い科目2科目 2単位 ただし、4D「異文化体験」を除く。
	5群	最も偏差値の高い科目2科目 2単位
	6群	最も偏差値の高い科目2科目 2単位
GS言語科目 (6科目)		最も偏差値の高い科目6科目 6単位

(2)理系の区分により入学した者の移行点対象科目 計 22 科目 22 単位

GS 科目 (6 科目)	1 群	最も偏差値の高い科目 1 科目 1 単位		
	2 群	最も偏差値の高い科目 1 科目 1 単位 ただし、2F「エクササイズ&スポーツ 実技」を除く。		
	3 群	最も偏差値の高い科目 1 科目 1 単位 ただし、3E「芸術と自己表現」を除く。		
	4 群	最も偏差値の高い科目 1 科目 1 単位 ただし、4D「異文化体験」を除く。		
	5 群	最も偏差値の高い科目 1 科目 1 単位		
	6 群	最も偏差値の高い科目 1 科目 1 単位		
GS 言語科目 (6 科目)	最も偏差値の高い科目 6 科目 6 単位			
基礎科目 (10 科目)	数学	微分積分学 I A	必修	必修 8 科目 + 選択必修の 8 科目の中から 2 科目  ・ A 科目 (※1) のうち 偏差値が最も高い 1 科目 + ・ B 科目 (※2) のうち 偏差値が最も高い 1 科目  合計 10 科目 10 単位
		微分積分学 I B	必修	
		線形代数学 I A	必修	
		線形代数学 I B	必修	
		微分積分学 II A	選択必修	
		微分積分学 II B	選択必修	
		線形代数学 II A	選択必修	
	線形代数学 II B	選択必修		
	物理学	物理学 I A	必修	
		物理学 I B	必修	
		物理学 II A	選択必修	
		物理学 II B	選択必修	
	化学	化学 I A	必修	
		化学 I B	必修	
化学 II A		選択必修		
化学 II B		選択必修		

※1 A 科目とは、選択必修科目のうち「微分積分学 II A」、「線形代数学 II A」、「物理学 II A」及び「化学 II A」をいう。

※2 B 科目とは、選択必修科目のうち「微分積分学 II B」、「線形代数学 II B」、「物理学 II B」及び「化学 II B」をいう。

(3)移行点対象外科目

前表(1)(2)にかかわらず、次の科目は移行点の対象としません。

- ① 「合」及び「否」の評語を使用する授業科目  
GS 科目「4D 異文化体験」
- ② 「認定」の評語を使用する授業科目
- ③ 入学前の既修得単位を認定した授業科目
- ④ 外部試験による単位認定制度で認定した授業科目
- ⑤ 外部試験による成績評価制度で認定した授業科目
- ⑥ 学士課程正規生の履修者数が 10 人未満の授業科目

(4) 移行点の算出方法

- ① 移行点は、移行点対象科目の各偏差値に当該科目の単位数を乗じたものの合計とします。
- ② 「Practical English」及び「基礎科目（理系のみ）」で単位認定が「保留」とされた場合、保留時の素点を移行点算出に使用します。
- ③ 移行点対象科目の成績が「放棄」の場合、素点は0点として偏差値を算出します。
- ④ 再履修したGS科目は、移行点対象外科目とします（GS科目において、一度「不可」又は「放棄」の成績がつき、次のクォーター以降で同一科目を再履修した場合、再履修した素点ではなく、当初履修時の素点を移行点算出に用いるということです）。  
なお、「英語クラス」のあるGS科目は、通常クラスと英語クラスを同じ科目として取扱います。
- ⑤ 移行点は、学士課程正規生の履修者の素点を対象として、授業を受けた履修クラス（同一時間割番号）ごとの偏差値を用います。

ただし、「Practical English」及び「EAP」は、次の科目ごとの偏差値を用います。

- ・「Practical English I」、「Practical English II」、「Practical English III」、「Practical English IV」
- ・「EAP I」、「EAP II」、「EAP III」、「EAP IV」

(5) 休学者の移行点算出

学生が休学により複数年度にわたって総合教育部に在学した場合、当該学生の同一「クォーター」（学期開講科目の場合は「学期」）の成績のうち最も低い年次におけるものを移行点算出の対象とします。ただし、上記（4）④の取扱いを優先します。

4 令和6年度 学類等移行スケジュール（予定）

日程（予定）		行事	備考
2月	10(月)、12(水)	移行ガイダンス	TOEIC-IP 終了後に開催
	18(火)	成績開示①	Practical English IVを除く全科目
	18(火)、19(水)	疑義申立て①	
	2/28(金)	成績開示②	Practical English IV
	2/28(金) 3/3(月)	疑義申立て②	
3月	2/28(金) 3/3(月)	志望調査・移行点开示	文系第4志望、理系第5志望まで
	5(水)	成績確定・移行点確定	
		志望調査結果発表	
5(水)~7(金)	第1次 進路登録	移行志望先を1つ選択	

10(月)	第1次 進路登録結果発表	
10(月)、11(火)	第2次 進路登録、面談	移行志望先を1つ選択
12(水)	第2次 進路登録結果発表	
12(水)、13(木)	第3次 進路登録、面談	第3志望まで
14(金)	第3次 進路登録結果発表	

\*上表に関わらず、希望学生は、1年を通してアカデミック・アドバイザーや担任教員との面談が随時可能です。